

国連防災世界会議（阪神淡路大震災総合フォーラム） への参加の概要

国際協力審議役 榎府 龍雄

はじめに

阪神・淡路大震災から10年となる2005年1月に、兵庫県神戸市において、国連主催で国連加盟国、国際機関、NGO等が参加する「国連防災世界会議」が開催されたが、その一環として開催された広く一般に公開される行事（総合フォーラム）において、独立行政法人建築研究所が実施したシンポジウムの開催、パネル展示及び振動台の実演について概要を紹介する。

取り組みの趣旨

建築研究所は、従来より研究成果の普及に取り組んで来たところであるが、2001年4月の独立行政法人化により、その方針が明確化された。即ち、独立行政法人通則法第29条に基づき国土交通大臣が業務運営に関する目標として定めた「独立行政法人建築研究所が達成すべき業務運営に関する目標」（中期目標）において、「国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」の一つとして「技術の指導及び研究成果の普及」が挙げられ、その中で「国際会議も含め関係学会での報告、メディアの発表等を通じて広く普及を図る」とされている。

国連防災世界会議は、国連加盟国、国際機関、NGOや広く一般市民が参加できる多様な企画が盛り込まれた会議であり（内閣府の報告によれば、参加機関は、国連加盟国168ヶ国、国際機関78機関、NGO161団体、計4000人以上。一般公開のフォーラムには4万人以上が参加。）、建築研究所の成果の広報普及の場として相応しいものと考えられたことから、地元公共団体、関係公益法人、国際機関、研究機関等と幅広く連携し、積極的な取り組み

を行うこととしたものである。

取り組みの概要

1 ビルと住まいの地震対策シンポジウム

(1)日時 2005年1月18日(火)10:00-16:30

(2)場所 神戸国際会議場 502,503,504,505号室

(3)主催者等

主催：独立行政法人 建築研究所

兵庫県

神戸市

財団法人 兵庫県住宅建築総合センター

社団法人 兵庫県建築士事務所協会

社団法人 兵庫県建築士会

社団法人 日本建築家協会近畿支部兵庫会

社団法人 兵庫県建築士事務所協会

兵庫県建築設計監理協会

後援：国土交通省

財団法人 日本建築防災協会

社団法人 日本免震構造協会

地震リスク・マネジメント研究会

建築研究開発コンソーシアム

写真1 シンポジウム第1部の様子



(4) 参加者関係

| | | |
|-----------|---|------|
| ・ 資料配布数 | 約 | 250組 |
| ・ 受付名簿記載者 | | 171名 |
| 内訳 | | |
| 官公庁、行政機関 | | 62名 |
| 建築・土木関係 | | 63名 |
| 大学・教育関係 | | 10名 |
| マスコミ・新聞等 | | 14名 |
| その他 | | 22名 |

(5) 構成

- * **第1部 ビルと住まいの地震対策** 10:00-12:15
主催者代表挨拶(趣旨説明)
独立行政法人 建築研究所 理事長 山内泰之
兵庫県の取り組み
兵庫県県土整備部建築指導課 補佐 谷口要治
耐震診断、耐震改修のすすめ
財団法人日本建築防災協会専務理事 杉山義孝
木造住宅の耐震診断、補強
独立行政法人建築研究所上席研究員 河合直人
免震・制震のすすめ
社団法人日本免振構造協会専務理事 可児長英
地震リスク・マネジメント(地震対策で得をする)
独立行政法人 建築研究所 研究員 高橋雄司

* 第2部 分科会 13:30-15:00

【ひょうご住宅耐震改修技術コンペの結果報告】

審査結果発表

コンペ審査委員長 日下部馨

「わが家の耐震改修促進事業」の報告

兵庫県県土整備部建築指導課 補佐 谷口要治

写真2 シンポジウム第1部講演者



代表事例報告

コンペ応募者(6団体)

【地震に強い木造住宅づくり】

耐震診断のすすめ

独立行政法人建築研究所上席研究員 河合直人

耐震補強の方法と実例

信州大学工学部 助教授 五十田博

【ビルの耐震補強とその経済的なメリット】

概要説明

独立行政法人 建築研究所 研究員 高橋雄司

事例紹介(耐震補強・耐震改修の実例とそのリスク低減効果)

庁舎(制震) (株)日建設計 浅野美次

共同住宅(制震) (株)鴻池組 安野郷

病院(制震/免震) 三井住友建設(株) 山岸邦彰

(上記3社は、建築研究開発コンソーシアムの共同研究開発である地震リスク・マネジメント研究会のメンバー)

【免震・制震のすすめ】

免震構造の原理

免震構造協会 教育普及部会委員 上河内宏文

免震装置について

免震構造協会 教育普及部会委員 鈴木幹夫

免震構造適用例、免震建物居住者へのアンケート

免震構造協会 教育普及部会委員 西川一郎

* 第3部 15:15-16:30

パネルディスカッション<耐震改修への取り組み>

コーディネーター

瀬戸本淳 兵庫県建築設計監理協会 会長

写真3 第1部 建築研究所山内理事長による趣旨説明



パネラー

岡田恒 独立行政法人建築研究所構造研究グループ長
杉山義孝 財団法人日本建築防災協会専務理事
鈴木洋子 社団法人兵庫県建築士会女性委員長
高橋伸明 兵庫県 県土整備部 建築指導課長
番齋 社団法人兵庫県建築士事務所協会技術部長

2 国連防災世界会議 総合防災展

「安全な住宅のための簡易な振動台による実演」
(各種の構造の1/10の大きさの住宅模型を簡易な振動台により振動を与えて耐震補強の効果を実感してもらうための実演)

(1) 日時

2005年1月18日(火) 14:30-16:30
コンクリートブロック造、レンガ造
1月21日(金) 14:30-16:30
木造軸組み構造、石造

写真4

第2部分科会 模型を使った木造住宅についての説明



写真5 第3部 パネルディスカッション



(建築研究所は、このうち木造軸組構造を担当。詳細は本テキスト「簡易な振動台による実演」参照)

(2) 場所 神戸国際展示場 企画コーナー

(3) 主催者等

主催：国連地域開発センター(UNCRD)

独立行政法人 建築研究所

兵庫県

協力：神戸市

読売新聞

財団法人 日本建築防災協会

被災地 NGO 協働センター

中島正愛(京都大学防災研究所)

目黒公郎(東京大学生産技術研究所)

北後明彦(神戸大学都市安全センター)

ラジブ・ショウ(京都大学大学院地球環境学堂)

写真6 簡易な振動台による実演



写真7 簡易な振動台による実演

耐震性能が十分でない住宅模型が倒壊したところ



木造模型関係協力：

福和伸夫（名古屋大学）

五十田博（信州大学）

（４）配布資料数 約 250 部

（５）構成（1月21日）

主催者挨拶 建築研究所理事 石川哲久

講演 実演の理念と原理

東京大学生産技術研究所 目黒公郎

木造軸組構造住宅模型振動台実演

説明 建築研究所 上席研究員 河合直人

通訳 建築研究所 国際協力審議役 榎府龍雄

石造住宅模型振動台実演

説明 国連地域開発センター ビシュヌ・パンディ

通訳 国連地域開発センター 小寺乃梨子

閉会挨拶

国連地域開発センター所長 小野川和延

進行

国連地域開発センター防災計画兵庫事務所所長

岡崎健二

3 国連防災世界会議 総合防災展 パネル展示 「建築研究所の国際地震工学研修事業および地震防災技術協力」

（１）日時 2005年1月18日（火）13:00より
22日（土）15:00まで

（２）場所 神戸国際展示場 展示ブース

（３）主催者等

主催：独立行政法人 建築研究所

協力：名古屋大学福和研究室

（４）配布資料数 約 500 部

（５）展示内容

* パネル展示

- ・ 国際地震工学センターの研修の概要
歴史、コース概要、研修生の状況等
- ・ 国際地震工学センターの研究等の活動
強震観測、地震研究、被害推定システムの開発等
- ・ 地震防災技術情報ネットワーク（IISEE ネット）
の紹介

・ 地震防災技術協力（JICA 地震防災センタープロジェクト）の概要

ルーマニア、インドネシア、ペルー、チリ、メキシコ、トルコ

* 展示ブースでのデモンストレーション

・ IISEE ネットへの PC によるアクセス

・ PC を利用した動画による研究成果の紹介（震源過程、建物の地震応答解析等）

・ 小型電動式の振動台による実演などの防災広報関連ツール

おわりに

今後とも研究成果の普及は建築研究所の重要な役割の一つとされることが想定されることから、適切な機会を捉えて広報活動に取り組んでいくこととしたい。

写真8 建築研究所のパネル展示ブース



写真9 展示ブースでのPCによるデモンストレーション

